

第71回交流フロア運営会議（議事概要）

1 日時・場所

平成29年10月4日（水）18:30～20:00

伊丹市立図書館ことば蔵 1階交流フロア

2 参加者数 22人

3 会議内容

(1) 「泥の河ツアー」イベント実施報告

9月23日（祝）に実施したイベントについて、学生3名より報告。

- ・アンケートには、学生が一生懸命説明している姿が良かったなどの言葉が多く並ぶ。
- ・「持ち帰ることができる資料があればよかった」などの意見も見られた。

学生の感想

- ・2ヶ月間準備してきたが、まだ改善できる点はたくさんあったと感じた。
- ・参加者の方からの「おつかれさま」、「ありがとう」といった声や拍手が何より嬉しかった。
- ・イベントの企画から実行まで経験することができてよかった。

参加者の感想

- ・もっと柔軟にできればよかったと思う面もあった（電車の選択・乗り換えなど）。
- ・リハーサルでの課題が上手く修正されており、本番は完成度の高いものになっていた。

(2) 新聞ができるまで <新規企画>

概要

ことば蔵では新聞（伊丹公論）を発行しているが、新聞を作る過程は意外と知られていない。そこで現場で活躍する新聞記者がデスクに来てもらい、取材から記事作成、発行までを教えてもらう企画はどうか。また、子どもたちに新聞記者を取材してもらい、「新聞ができるまで」の新聞を作ってもらえればよいのではないか。

意見

- ・伊丹公論の人集めにもなれば
- ・新聞づくりの裏側を知っている人は少なく、興味が持てそう

(3) みんなの寺子屋（仮称）「子どもも大人もみんな先生、生徒！」

概要

伊丹でもサマーセミナーのような企画がしたい。

- ・ことば蔵の1階交流フロア・部屋を使用し、1時間目から5時間目までそれぞれ3講座、合計

15 講座を行う。

- ・開催日は2018年7月1日はどうか（ことば蔵開館6周年）
- ・子どもが先生になってほしい。例えば「昆虫博士」など、大人顔負けの子どもが先生になれば面白い。

意見

- ・尼崎のサマーセミナーは、学校であの大きな規模でやるからの良さがある。
- ・ことば蔵で開催するのであれば、どのように独自の「色」を出すか。
- ・広報活動はどのようにするのか。SNSの活用などができるのか。
- ・内容が難しいわけではないが、構成を考えなければいけない。既存のイベントや講座を織り交ぜたほうが従来の集客も見込めるが、特別感には欠ける。
- ・「受けたい授業がいくつもあって、全部回りきれない」から楽しいのではないか。
- ・子どもに先生になってほしいのであれば、市内小学校に働きかけてはどうか

(4) 「子ども作戦会議」－10月14日初回－

◆開催にむけて

- ・日程について 2回目の日程を11月5日（日）～11月12日（日）へ変更。
- ・大人、保護者には大人の心得帖を配布・説明し、あくまで子どもを主役に。
- ・途中から参加した子でも大丈夫なように、1回ごとに完結するよう工夫。
- ・初回の10月14日の目標は、「○○○と×××したい」（例えば、本田圭祐とサッカーしたい）というようなアイデアと、それを実現するときの具体的なイメージ画（イラスト）が5個決まっていること。
- ・限られた時間の中で、早く打ち解けられるように遊び要素も取り入れて進行。
- ・課題は参加人数。初回どれくらいの子が参加してくれるのか。

(5) プレミアムフライデー —DIY講座—

- ・10月27日（金）18時30分～
基本的な工具の使い方を紹介し、簡単な木製のコースターを作る。
- ・切ったり、やすりがけをするのに適した材質のものを使用するので、初心者でも大丈夫。

4 次回の運営会議

平成29年11月1日（水）18：30～ 伊丹市立図書館ことば蔵1階交流フロア